



校長室だより 足立区立第九中学校

第4号 令和3年6月2日発行 佐藤 豊



緊急事態宣言再延長

校長 佐藤 豊

政府は、新型コロナウイルス対策として東京や大阪など9都道府県に出されている緊急事態宣言について、6月20日まで期限を延長することを決定しました。

新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種が始まりましたがまだまだ余談を許さない状況にあり、継続した対策が欠かせません。感染拡大を防止するためには、正しく恐れ、一人一人が自覚ある行動をとることが求められています。

■ 新型コロナウイルス感染症について

○人の流れが増加し、既に変異株による陽性者が著しく増加しています。

○みんなで協力して感染を抑え込んでいく必要があります。
○今一度、基本的な感染予防対策の確認・徹底が必要です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、皆さん一人一人が当事者意識をもち、行動することが大切です。

新型コロナウイルスから自分の身を守り、また、周りの大切な人を守ろう！

<p>■ 感染しないために心掛けること</p> <p>○免疫力を高めるために、十分な睡眠と適度な運動、バランスのとれた食事を心掛けましょう。</p> <p>○マスクをしているからと安心せず、放課後はまっすぐに家に帰り自宅で過ごすようにしましょう。また、休日也不要不急の外出は避けましょう。 (・生活必需品を買いに行く…○・放課後や休日に友達の家に遊びに行く…×)</p> <p>○毎朝、自宅で検温するとともに、発熱や咳等の症状が見られるときには、かかりつけ医等、身近な医療機関に電話で相談しましょう。</p> <p>みんなが取り組むこと</p> <p>マスクしよう 手洗しよう 食事は分けて 声かけしよう 検温しよう うちで過ごす</p>	<p>■ 感染症の予防の効果について学ぼう</p> <p><3月22日放送「NHKスペシャル「パンデミック」との闘い〜感染拡大は封じ込められるか〜」から> (6分16秒)</p> <p>QRコード</p> <p>新型コロナウイルス感染症の予防のために、咳エチケットやこまめな換気をするのがなぜ重要なのかについて、分かりやすくまとめられています。</p>	<p>■ もしもの時のために (最新情報を確認)</p> <p>「東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト」では、最新の情報と感染症が心配な時の相談窓口が紹介されています。</p> <p><東京都新型コロナウイルス感染症対策サイト></p> <p>QRコード</p>
---	--	---

人権感覚を養おう

■ 自分はどうすべきか考えてみよう

○都教委HP「考えよう！いじめ・SNS@Tokyo」には、新型コロナウイルス感染症に関連するいじめや偏見、差別によって苦しむ男子生徒の話や、身近な人が新型コロナウイルスに感染した際、どのように接したらよいか考える女子生徒の話が掲載されています。自分だったらどうするか、考えてみましょう。

「考えよう！いじめ・SNS@Tokyo」(漫画形式の教材)

QRコード

悩みは相談しよう

■ 心配ごとや悩みは身近な大人に相談

充実した生活の中でも、生活や友人関係のトラブルなど、誰もが悩みや心配をもつものです。「心が疲れた」と感じたときには、信頼できる大人に相談するなど、助けを求めてください。大人への相談が難しいと感じたときは、LINE相談「相談まっとうLINE@東京」などに相談しましょう。<相談まっとうLINE@東京>

○ 東京都教育相談センター 0120-53-8288(24時間受付)

○ ヤング・テレホン・コーナー 03-3580-4970

QRコード

※【教育庁指導部義務教育指導課資料】

持続可能な未来のために (SDGsの17の目標)

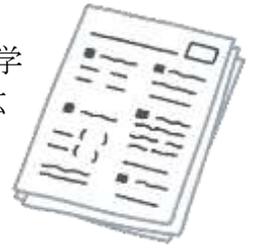
本校では今年度から「総合的な学習の時間」のテーマに持続可能な社会の実現に向けて「学びの自分ごと化を目指して」と題して、社会課題に関心をもち発達段階に応じた学習に取り組んでいます。

世界中の様々な国で環境問題(気候変動)・貧困・紛争・人権問題・新型コロナ等の感染症、多くの課題に直面しています。このままでは安定してこの世界で暮らし続けることが困難になっていくのではないかと心配される状況になっているからです。「持続可能な」という部分は、「人間の活動が自然環境に悪影響を与えず、その活動を維持できることを意味しています。この学習で一番大切なことは、みんなの生活をより良くするためには何が必要なのか、どのようにすればこの目標を達成でき、現在そして未来の世界をより良くできるのか、ということ「自分ごと」として考え、みんなのためになることであれば行動することができる九中生に成長して欲しいと切に願っています。



2年ぶりに「全国学力・学習状況調査」が行われました。

5月27日（木）に小学6年と中学3年の全員を対象にした文部科学省の「全国学力・学習状況調査」が一斉に行われました。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大で中止となりましたが、調査の実施は2年ぶりでした。昨春の一斉休校による学習の遅れに対応するため、コロナ禍の学習への影響なども調べるようです。



2年生がマナー教室を実施いたしました。

5月27日（木）に2年生がキャリア教育の一環として、講師に株式会社R.I.Tの大木翔陽様、島岡宏平様、志村友樹様をお招きしてマナー教室を開催しました。今回の講演会では、職場における接遇の内容だけではなく、「時間を守ることの大切さや校則がなぜ必要であるのかについて、また、社会に出てからの人間関係の構築の大切さや自分が今後成長していく中で悩み迷ったときの選択はあくまでも自分の責任である」ことなど生き方に及ぶ深い内容でした。生徒たちも真剣に聞き入り、学習ワークシートがうまるほど学んだことや感想などを書いていました。

今回の講演会で2年生が、学ぶことの意義を理解し、主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲に繋げてくれば、これからの学校生活も充実するのではないかと期待しています。



熱中症に注意！！

いよいよ運動会の練習が始まりました。また、昼休みの校庭開放や大会やコンクールがある部活動も行っています。マスクの着用についても正しく理解し、熱中症により教育活動が中止になるようなことがないようにみなさんも十分に注意しましょう。熱中症は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡したりすることもあります。室内でも、外出時でも、のどの渴きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給しましょう。

熱中症について正しい知識を身に付け、体調の変化に気を付けるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

LINE を使ったいじめが問題になっています。

LINE を使ったいじめにはいくつかのパターンがあるそうです。1つ目は、LINE にはグループ機能といって、複数で会話を共有できる機能があります。そのグループ機能を用いて、グループの中で、特定の人の悪口を言い合ったり、嫌がる写真や動画をメンバーで共有したりするという行為があります。2つ目は、仲間はずれをする行為です。上記のグループから誰かを退会させたり、特定の人だけを除いたグループを作ったりしてLINE 上で仲間はずれを行います。3つ目は、LINE 上で無視を行うことです。LINE ではメッセージを受信し、そのメッセージを読むと「既読」というマークがつき、メッセージを見たかどうか送信者にもひと目でわかるようになっています。AさんがLINE 上で何かを呼びかけたところ、既読マークはつくものの誰も返信しないのに、その直後にBさんがLINE 上で呼びかけたところ、Bさんの発言についてはグループ内のメンバーが返信をする、Aさんの発言のみ誰も返事をしない、というような場合が、LINE 上の無視に該当します。善にも悪にも活用できるLINE に対しての正しい知識をもっていれば、悪用する人が減ると思います。

